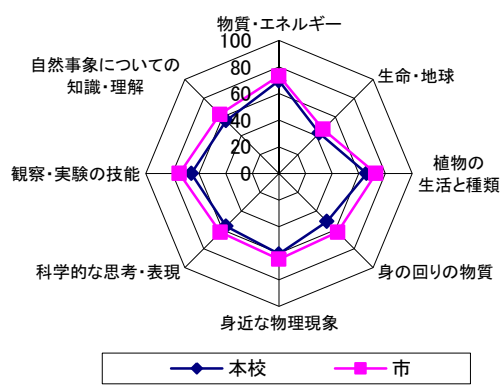


宇都宮市立国本中学校 第1学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	物質・エネルギー	69.6	73.3
	生命・地球	42.8	47.0
	植物の生活と種類	65.9	72.9
	身の回りの物質	51.0	62.4
	身近な物理現象	60.5	64.5
観点別	科学的な思考・表現	56.2	62.5
	観察・実験の技能	65.9	74.8
	自然事象についての知識・理解	56.1	62.8



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	市の平均より、3.7ポイント下回っているが、他の領域よりは理解されている。	身近な現象と関連させながら、思考力を高められるような指導をしていきたい。
生命・地球	市の平均より、4.2ポイント下回っている。理解が不十分である。	現象規則性を見抜く力を身に付けさせ、身近な現象からもイメージできるような指導をしていきたい。
植物の生活と種類	市の平均より、7.0ポイント下回っている。実験器具の使い方の正答率が低い。	比較的抵抗感のない領域と思われるが、生物の観察を中心として、興味・関心を持たせながら指導していきたい。
身の回りの物質	市の平均より、11.4ポイントも下回り、理解が不十分である。表から読み取る設問での正答率が低い。	物理現象の領域は数学的な処理が必要なので、計算練習や作図など繰り返し指導し、基礎的な計算は数学科とも連携を図っていきたい。
身近な物理現象	市の平均より、4.0ポイント下回っている。実験・観察の技能等で市の正答率を上回っている設問もあるが、活用する設問の正答率が低い。	グラフや表を使った考え方に慣れるような指導をしていきたい。